

事務事業名	男女共同参画推進セミナー事業					事務事業No.	123 - 4		
1. 基本情報									
担当部	担当課		担当係		作成者職名	作成者氏名	所属長職名	所属長氏名	
市民協働部	男女共同参画推進課		企画担当		主査	梅木 央恵	課長	田代 千明	
施策体系	総合計画	政 策	1	人権・市民参画					
		施 策	2	男女共同参画の推進					
		基本事業	3	男女が共に支えあい、安全・安心で住みよいまちづくり					
	その他の計画		個別計画		第2次飯塚市男女共同参画後期プラン				
根拠法令・条例・要綱等	飯塚市男女共同参画推進条例第6条、飯塚市男女共同参画推進本部設置規程第6条								
事業開始年度	平成19年度		事業終了年度		継続	事務事業類型	ソフト事業		
実施手法	全部直営		補助金等の支給		なし	実施計画期間	-		
2. 事務事業の概要及び目的（決算成果説明書と連動）									
概要	行政職員としての男女共同参画社会の実現のための政策強化を図るため、専門性の高い外部講師等による職員研修による意識啓発								
対象	働きかける相手・もの	職員（男女共同参画推進協議会委員、男女共同参画推進員）							
手段	方法・働きかけ（活動指標）	専門性の高い外部講師を招致し、研修を開催							
意図	対象をどのようにしたいか（成果指標）	計画推進体制の充実・強化を図るため、男女共同参画についての認識をさらに深める。							
3. 活動指標（決算成果説明書と連動）									
指標名		単位	指標の説明（算式等）			前年度実績	本年度実績	次年度見込	
セミナー研修受講者		人	セミナー出席者数			36	64	64	
アンケート提出者		人	アンケート提出数			29	55		
4. 成果指標（決算成果説明書と連動）									
指標	アンケート回収率	単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込		
		%	95	目標値	95	95	95		
説明	回収数/受講者数	方向性	達成目標年度	実績	80.5	85.9			
		増加	毎年度						
指標		単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込		
				目標値					
説明		方向性	達成目標年度	実績					
指標		単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込		
				目標値					
説明		方向性	達成目標年度	実績					
5. 事務事業実施にかかるコスト（決算成果説明書と連動）									
経費区分	一般会計 経常経費				特別会計	-			
予算科目・事業	会計 1 一般会計	款 2 総務費	項 1 総務管理費	目 11 男女共同参画推進費	他 0 事業				
	大 99 その他の男女共同参画推進費	中 7	男女共同参画推進セミナー事業費			他 0 事業			
投入人員 (当該事務事業に対して1年間に投入した人員)	(R2以降)	前年度実績(千円)	本年度実績(千円)		増減理由(10%以上の場合)			次年度予算(千円)	
	正職員	0.05 人	398	0.11 人	896				0.06 人 489
	任期付職員(保育士)	0.00 人	0	0.00 人	0				0.00 人 0
	任期付職員(子ども家庭支援員)	0.00 人	0	0.00 人	0				0.00 人 0
	任期付職員(CW・水質)	0.00 人	0	0.00 人	0				0.00 人 0
	再任用フル	0.00 人	0	0.00 人	0				0.00 人 0
	再任用短	0.00 人	0	0.00 人	0				0.00 人 0
	1級フル	0.00 人	0	0.00 人	0				0.00 人 0
	1級パート	0.00 人	0	0.00 人	0				0.00 人 0
2級パート	0.00 人	0	0.00 人	0				0.00 人 0	
人件費計(A)		398		896		業務に係る人件費の割合が増えたことが増額の主な要因。			489
事業費	直接事業費(B)	30		50					55
	総事業費(A+B)	428		946					544
直接事業費のうちの主な歳出内訳		報償費	30		50		55		
		-	0		0		0		
財源内訳	使用料・手数料(受益者負担分)	0		0		0			
	国・県支出金	0		0		0			
	市債	0		0		0			
	一般財源	428		946		544			
その他()									

6. 事務事業の事後評価★			
評価視点		評価	評価の理由、または認識している課題を記載
妥当性 評価		高い	行政職員を対象とした専門研修の実施、庁内の刊行物に男女共同参画の視点が入っているかを確認する業務であり、妥当性は高い。
効率性 評価		高い	専門の講師に研修を依頼しており、現在の費用はかなり安価となっている。
有効性 評価		高い	行政職員に対し男女共同参画研修を実施することで、市の政策等に男女共同参画の考えが反映される。
7. 前年度評価時の計画と実績			
前年度評価★		前年度記載した改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★	
評価区分	成果の方向性	次年度以降に予算（コスト）を必要とせず、直ちに実施できる改善策	研修内容については、市の施策等におけるジェンダーの主流化を達成するためにも、質の高い研修内容となるように題材、講師の選考に努めたい。
	一次評価	拡充	
		コストの方向性	次年度以降に予算（コスト）増を必要とし、中長期的に実施する改善策
前年度改善策に対する実績 ★ ※上記の改善策に対して今年度を実施できたこと、などを記入			
今年度より研修対象の協議会委員を課長職全員まで拡充し、全庁的に男女共同参画、女性活躍の推進に取り組むこととした。			
8. 今年度評価における成果と課題（決算成果説明書と連動）★			
〔成果〕 研修対象の協議会委員を課長職全員としたことで、本市の男女共同参画、女性活躍の推進に庁内一丸となって取り組める体制づくりができた。			
〔課題〕 6年度より協議会委員を拡充したので、状況を見守り更なる課題の抽出に努めたい。			
9. 今後の事業の方向性と改善策			
成果の方向性		〔理由〕 6年度より協議会委員を拡充したので、状況を見守り更なる課題の抽出に努めたい。	
現状維持		〔理由〕	
コスト投入の方向性		〔理由〕 現状の費用も低廉なものに抑えられているので、評価は現状維持とした。	
現状維持		〔理由〕	
次年度以降の改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★			
コスト（人・予算等）を必要とせず、ただちに実施できる改善策		受講者がさらに知識を深めるため、関係部署との連携を図るとともに、よりよい外部講師の選定について検討する。	
コスト（人・予算等）を必要とし、中長期的に実施する改善策		－	
評価変更理由	成果の方向性	他の事業と統合を行うとともに、研修内容の精査を行い、より効率的な実施方法となるよう見直しを行う。 事業の統合及び組織の再編が必要であると考えられることから縮小とする。	
	統合		
	コスト投入の方向性		
	縮小		